



北朝鮮情勢に関する警戒連絡会議

【日時】 平成29年4月27日（木） 14：30～

【場所】 第4応接室（本庁舎3階）

【参集範囲】

知事、副知事、統轄監、危機管理局長、関係部局長、教育長

（関係部局：元気づくり総本部、総務部、地域振興部、観光交流局、
福祉保健部、生活環境部、商工労働部、農林水産部、
県土整備部）

1

【目的】

北朝鮮情勢を踏まえた警戒連絡体制の確認

【内容】

- 1 北朝鮮情勢について
- 2 北朝鮮情勢に関する県の警戒連絡体制について
- 3 鳥取県国民保護計画における事務・業務について
- 4 ミサイル落下時の対応（国説明会資料）について

2

1 北朝鮮情勢について

◆報道情報

- ◇米空母日本海展開へ(日本海新聞 4/27)
 - ・カールビンソンは近日中に日本海に入る見通し。
- ◇北朝鮮の脅威増大、必要なら空母で攻撃可能＝米軍司令官(ロイター 4/27)
- ◇自衛隊と米空母との共同訓練 北朝鮮警戒で期間延長(ANN 4/26)
- ◇北朝鮮挑発に断固反対 日中高 官会議で一致(山陰中央新報 4/27)
- ◇THAAD発射台搬入(日本海新聞 4/27)
- ◇政府 北朝鮮への警戒監視体制を維持 中国にも働きかけへ(NHK 4/26)
- ◇「中国、北朝鮮国境に兵力10万集結…2級戦備態勢」(中央日報日本語版4/25)
- ◇国連安保理 28日に北朝鮮の核問題を話し合う閣僚級会合(NHK 4/26)
- ◇核実験すれば漁業権取引の禁止も 韓米日が対北制裁案検討(聯合ニュース 4/26)
- ◇米、多国間外交へ転換 対北追加制裁、国連大使に要求(産経新聞 4/26)
- ◇内政担当も緊急参集＝北朝鮮ミサイル対応―政府 (時事通信 4/21)
- ◇安倍総理は、参議院委員会で、北朝鮮が化学兵器のサリンをミサイルに載せて攻撃する力を持っている可能性があることを明らかにした。(JNN 4/12)
- ◇「核実験場近くの住民が避難 25日前後に実施の可能性(中央日報日本語版4/25)
- ◇核実験については、いつでも可能な状況
 - ・北の核実験場が活動再開 米分析(産経新聞 4/23)

3

1 北朝鮮情勢について

◆国の体制

官邸の危機管理センター内に設置している北朝鮮に関する官邸対策室において対応中

従来から、消防庁国民保護運用室に「消防庁第1次情報連絡室」を設置している。

2 北朝鮮情勢に関する県の警戒連絡体制について

◆県の体制

警戒が必要な不透明な北朝鮮情勢を踏まえて、当面、4月28日から5月の間は、新たに「北朝鮮情勢に関する連絡体制」を取り、迅速な情報共有、参集態勢を確保して、不測の事態に即応することとする。

◆ 事案発生時の対応

- ①関係部局に、(a)警戒連絡責任者(部長・次長等責任ある判断、指示を行うことができる者)及び(b)参集登録者((a)以外を含む)を定める。
- ②関係部局の警戒連絡責任者(部長・次長等責任ある判断、指示を行うことができる者)及び参集登録者に危機管理局から一斉メールで情報発信、連絡(必要に応じて電話連絡)
- ③参集登録者は速やかに登庁し、対応開始
- ④必要に応じて警戒連絡責任者と参集登録者の連絡

5

3 鳥取県国民保護計画における県の事務・業務

… **別紙 1**

4 ミサイル落下時の対応(国説明会資料)

… **別紙 2**

6

◆最近の北朝鮮によるミサイル発射の状況

29年4月27日現在

年月日時		ミサイルの種類	発射数	特記事項
H29.4.16	(日) 6:21頃	分析中	1	NHKによると「米軍は、発車直後に爆発したと発表」
H29.4.5	(水) 6:42	スカッドER?	1	当初はSLBM改良型(KN15)、約9分間、数10キロ飛翔と報道、事後、スカッドER、飛翔は1分程度との報道あり
H29.3.22	(水) 7:47	ムスダン改良型	1	失敗 数秒後に爆発? 移動中、発射直前に爆発との報道あり
H29.3.6	(月) 7:34	ムスダン	4	約1,000キロ飛翔、日本海EEZ内に3発落下、近弾は能登半島沖約200キロ
H29.2.12	(日) 7:55	新開発ミサイル (SLBM改良型?)	1	約500キロ飛行して日本海に落下
H28.10.20	(木) 7:00	ムスダン	1	失敗
H28.10.15	(土) 12:33	ムスダン	1	失敗
H28.9.5	(月) 12:13	ノドン	3	いずれも約1000キロ飛行して北海道沖の日本海(EEZ内)に落下
H28.8.24	(水) 5:29	潜水艦発射弾道ミサイル (SLBM)	1	約500キロ飛行して日本海(ADIZ内)に落下
H28.8.3	(水) 7:53	ノドン	2	うち1発は約1000キロ飛行して秋田県沖の日本海(EEZ内)に落下
H28.7.19	(火) 5:45~6:40	ノドン、スカッド	3	ノドン2発、スカッド1発を日本海方向に発射。うち2発は500~600キロ飛行して日本海に落下
H28.7.9	(土) 11:30	SLBM	1	失敗
H28.6.22	(水) 5:57, 8:03	ムスダン	2	うち1発は高度1000キロ超え、朝鮮半島の東およそ400キロの日本海に落下

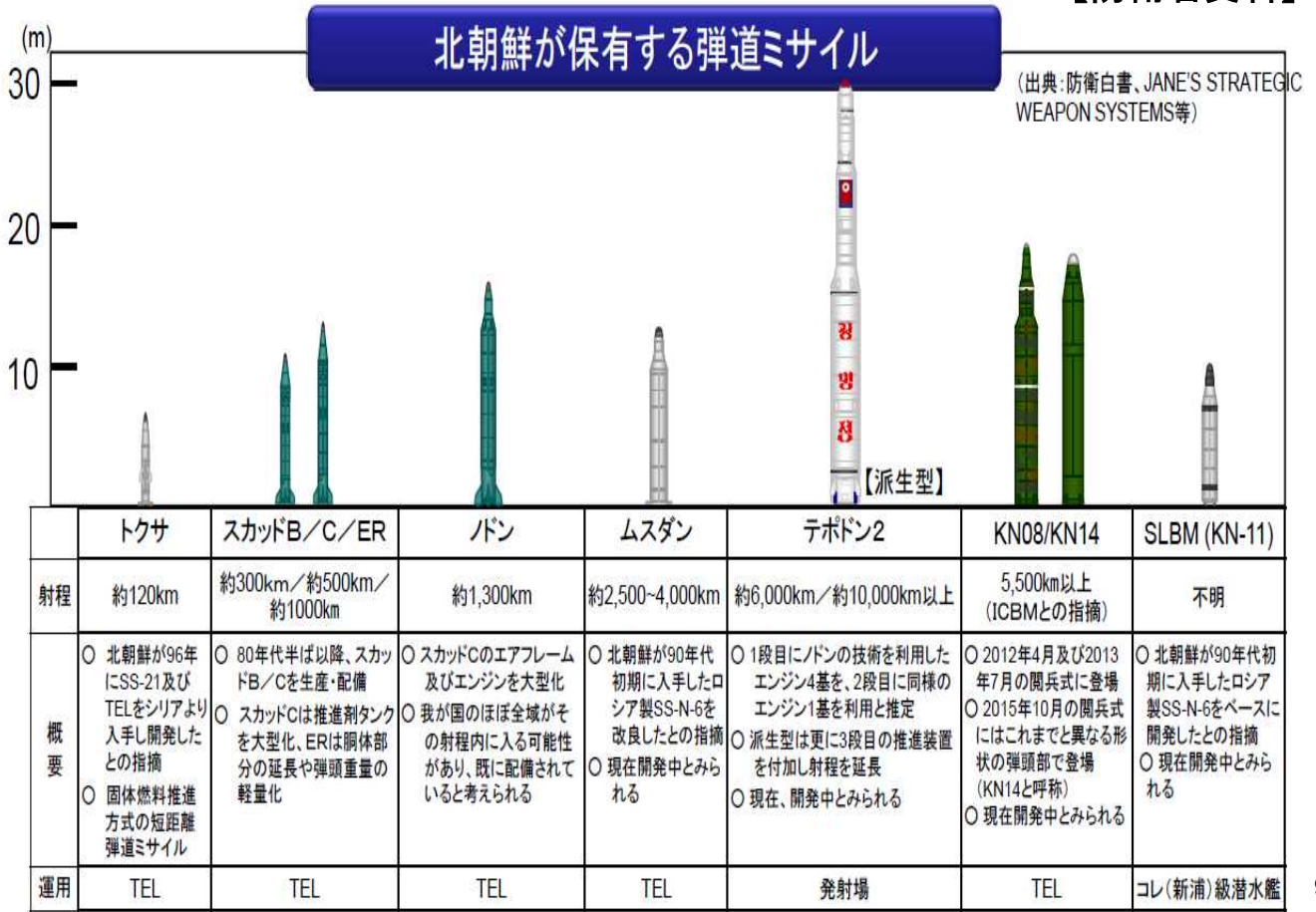
※上記は、各種報道等の情報をもとに整理したもの。

7

◆北朝鮮の記念日等

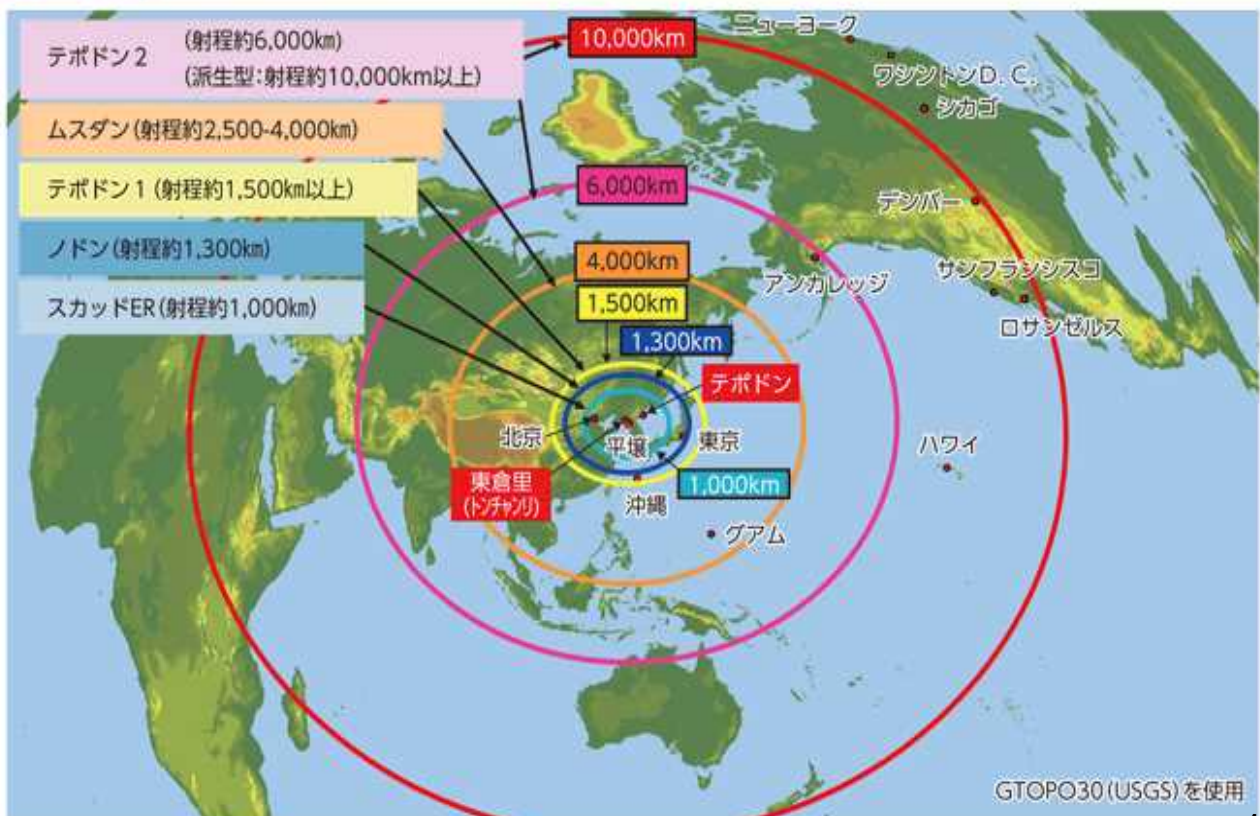
月日(時期)	内容
3月1日~ 4月下旬	米韓合同訓練 ※空母カールビンソン艦隊と韓国軍との訓練が予定
4月6日~7日	米中首脳会議
4月15日	金日成生誕105周年 ※5年、10年の節目にあたる。
4月15日~25日	ペンス副大統領、韓国、日本、インドネシア、オーストラリア歴訪
4月25日	北朝鮮人民軍創建記念日(85周年)、日米韓高官協議
5月9日	韓国大統領選投票日

8

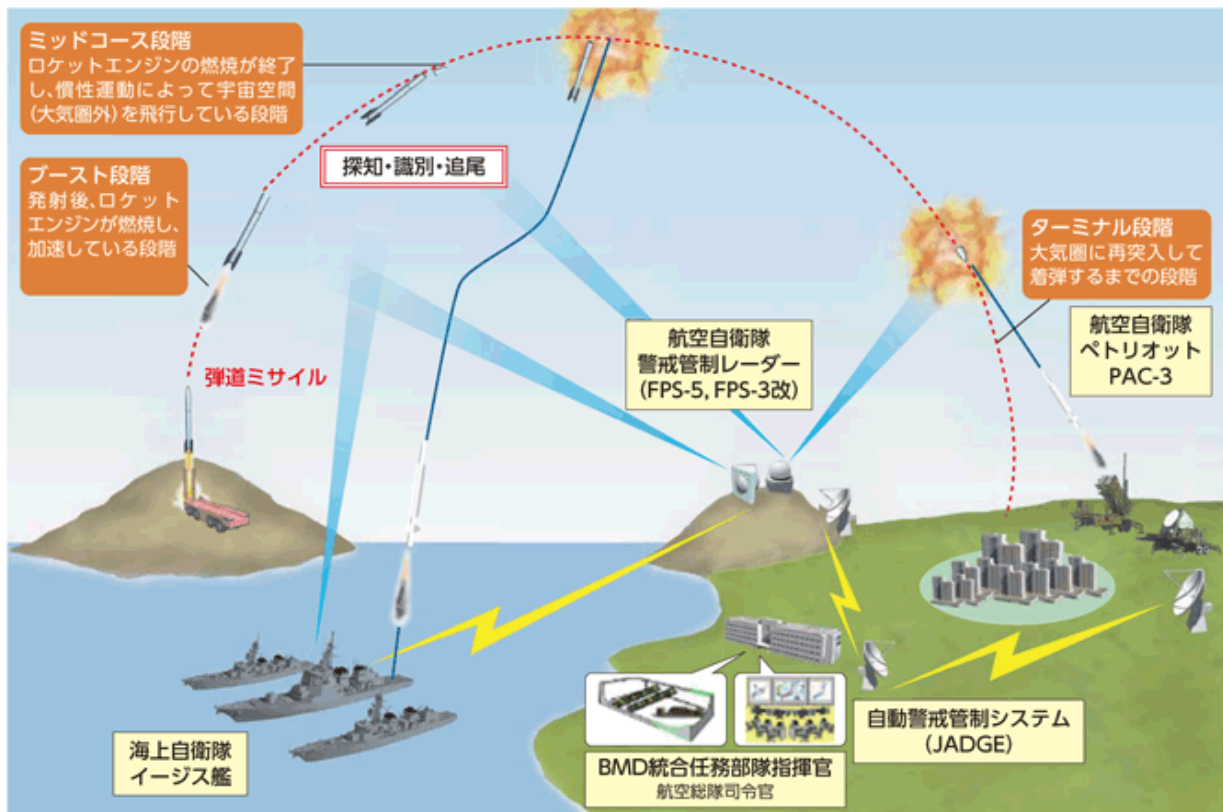


北朝鮮弾道ミサイルの射程(防衛白書28)

図表 I-1-2-2 北朝鮮の弾道ミサイルの射程



(注) 上記の図は、便宜上平壌を中心に、各ミサイルの到達可能距離を概略のイメージとして示したものの



北朝鮮による核開発の現状について

過去の核兵器開発疑惑が解明されていないこと及び過去5回の核実験を通じた技術的な成熟が予見されることなどを踏まえれば、**北朝鮮の核兵器開発が相当に進んでいる可能性も考えられる。**

観測された地震の規模及び推定出力

過去4回の核実験と比較すれば、最大の出力



	2006年 10月	2009年 5月	2013年 2月	2016年 1月	2016年 9月
地震の規模 (CTBTO発表の値)	M4.1	M4.52	M4.9	M4.85	M5.1
推定される出力 (※TNT換算)	約 0.5-1kT	約 2-3kT	約 6-7kT	約 6-7kT	約 11-12kT

水爆の保有に関する評価

○ 16年1月の核実験について、北朝鮮は、**初の水爆実験を成功裏に実施したと主張。**

➡ **地震の規模から考えれば、一般的な水爆実験を行ったとは考えにくいものと認識。**

小型化・弾頭化に関する評価

○ 第5回目の核実験(2016年9月9日)後、北朝鮮は、核兵器研究所声明を通じて、「北部核実験場で、新たに研究、製作した**核弾頭の威力判定のための核爆発実験**が成功裏に行われた」と発表。

➡ **技術的な成熟が予見されることなどを踏まえれば、北朝鮮が核兵器の小型化・弾頭化の実現に至っている可能性も考えられる。**



小型化された核弾頭と主張する物体を視察する金正恩委員長